NSnet

原子力の安全を追求する相互交流ネットワーク

ＮＳネット（ニュークリアセイフティーネットワーク）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL：03-5220-2666　FAX：03-5220-2665

NSnet News
No.20
August
2003

第７回評議員会を開催

平成１５年７月９日東京都千代田区の大手町サンケイプラザにおいて、第７回評議員会を開催しました。

本評議員会では、平成１４年度の活動実績、平成１５年度の活動計画を中心に、各評議員からご意見をいただきました。ＮＳネットではこれらを取りまとめ、ホームページに掲載する予定です。

▲評議員会の様子

《評議員会での主なご意見》

●今後のＮＳネット活動のスローガンとして、安全文化という言葉ともう一つ、倫理という言葉を打ち出してもいいのではないか。

●安全風土から考えた場合には、安全文化や安全風土という観点から、従業員が自分の会社や職場に対して、どのくらい安全に対して関心をもっているのかを考察する必要がある。

●レビューがルーチン化すると、ホスト側も慣れてきて、その結果もルーチン化してくる。ＮＳネットのピアレビューとして、独自性をもたせるための対策が必要である。

●安全文化は、達成されたと思った瞬間から劣化が始まる。安全文化は、継続的、永続的に、取り組まなければならない。コストパフォーマンスでは測れないところがある。安全とコストは、トレードオフと言われているが、そうではないという認識が必要である。

▲牧野理事長

▲石井評議員

▲碧海評議員

▲嶌評議員

▲田中評議員

▲村上評議員

ＮＳネットコラムについて

昨年１０月から、ホームページにて開始したＮＳネットコラムは、牧野理事長の「ＮＳネット設立の背景」にはじまり、ＮＳネットの役員、評議員などＮＳネットと関係のある方から、ＮＳネットの活動に関連した題材についてコラムを執筆していただいております。読者の皆様から好評をいただいておりますので、ぜひご一読下さい。

掲載日	投稿者	所　属	件　名
H14.9.27	牧野　昇　氏	ＮＳネット理事長	ＮＳネット設立の背景
H14.10.30	目黒 芳紀 氏	日本原子力発電（株）　常務取締役 （ＮＳネット理事）	原子力と社会の調和
H14.12.4	竹内 榮次 氏	核燃料サイクル開発機構　特別参与 （ＮＳネット理事）	フランスの高速増殖実験炉「ラプソティ」を訪れて
H15.1.8	岩間　正　氏	石川島播磨重工業（株） エネルギーシステム事業部　副事業部長	若者二題
H15.1.31	石井 威望 氏	東京大学名誉教授 （ＮＳネット評議員）	2003 年のセキュリティ展望
H15.3.3	河村　満　氏	レーザー濃縮技術研究組合 管理部長	安全・安心に不可欠なものは
H15.3.31	長崎 幸治 氏	三井造船（株）　環境事業本部 品質保証部長	ＮＳネット「相互評価」に参加して
H15.5.8	小林 晋昇 氏	日本原子力研究所　安全管理室長	ＮＳネット相互評価（ピアレビュー）に参加して
H15.5.30	碧海 酉癸 氏	消費生活アドバイザー （ＮＳネット評議員）	安全は知恵のメジャー
H15.6.30	武藤　章　氏	三菱原子燃料（株）　副社長 （ＮＳネット理事）	安全操業とマニュアルについて

＊所属は投稿時

相互評価（ピアレビュー）の予定と実績

平成１５年度は１０事業所のピアレビューを実施する計画です。第３７回より２巡目のピアレビューになります。

回	実施（予定）時期	会員名・事業所名	所在地	施設分類
31	H15.5.20～22	日立造船（株）　有明機械工場 （日立造船ディーゼルアンドエンジニアリング（株））	熊本県長洲町	キャスク設計・製造
32	H15.6.17～19	（株）神戸製鋼所　高砂機器工場	兵庫県高砂市	キャスク設計・製造
33	H15.7.23～24	住友原子力工業（株）	東京都墨田区	ソフト研究開発・安全解析
34	（H15.9）	日揮（株）　技術研究所	茨城県大洗町	研究施設
35	（H15.9）	中部電力（株）　浜岡原子力発電所	静岡県浜岡町	原子力発電施設
36	（H15.10）	（財）電力中央研究所　狛江研究所	東京都狛江市	研究開発
37	（H15.11）	東京電力（株）　福島第二原子力発電所	福島県楢葉町	原子力発電施設
38	（H16.1）	原子燃料工業（株）　熊取事業所	大阪府熊取町	核燃料加工施設
39	（H16.2）	核燃料サイクル開発機構 大洗工学センター	茨城県大洗町	試験研究炉
40	（H16.3）	日本原子力発電（株）　敦賀発電所	福井県敦賀市	原子力発電施設

＊実施時期等は都合により変更になる場合があります。

第31回相互評価の実施

今回は、第31回の日立造船(株)有明機械工場(日立造船ディーゼルアンドエンジニアリング(株)(以下、日立造船D&E))で行われたピアレビューの状況を紹介します。ピアレビューの概要及び報告書の全文はNSネットのホームページ(http://www.nsnet.gr.jp/)に掲載していますのでご覧下さい。

平成15年5月20日から22日にかけて行われた第31回のピアレビューは、東北電力(株)、(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン、富士電機(株)の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加し、組織・運営、教育・訓練、設計・製造、重要課題対応の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、倫理関係、コミュニケーション、データの取扱い等にも注意を払ってレビューしました。

評価の結果、日立造船D&Eにおいては、顧客の要求品質を満足するキャスクを安全かつ合理的に製作するという意識を根付かせ、実践するための事業所全体に亘る継続的な活動として、OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)活動*1、TPM活動*2及びISO9001(品質マネジメントシステム)活動を取り入れ、従業員が一丸となって取り組んでいることが確認されました。

また、NSネットの会員外から、熊本大学教授 吉田道雄氏にオブザーバー参加いただき、「ピアレビューを精力的にすすめていれば、"こういうレビューをしてくれるので、助かります"といった感謝や喜びの声が聞こえてくるに違いない。それこそピアレビュー冥利に尽きるというものである。また、被評価側とレビューアが、お互い努力して、可能な限り早く“相互啓発の段階”までに関係を成長させる事が期待される。」との講評をいただきました。

▲ 報告書の提出
牧野理事長(写真左)より日立造船㈱重藤社長(写真右)へ

〈主な良好事例〉

- TPM活動による積極的な改善活動の実施
- 現場における問題点抽出の工夫によるモラルの向上
- 設計技術者資格付に基づく担当者の作業配置
- 検図チェックシートを活用した設計図書の確実な確認
- 3Mパトロール*3 による安全規則の遵守徹底
- 「実験朝礼」によるヒヤリハット事例の周知
- 不適合発生原因の4M分析法*4 による多面的評価の実施

〈主な改善提案〉

- 事業所全体を対象とした倫理教育の毎年の実施
- 有資格者リストの現場表示
- 「緊急時連絡体制表」の現場掲示

*1 OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)活動:
Occupational Health and Safety Assessment Series／OHSAS18001 は労働安全衛生マネジメントシステムの規格で、この規格は企業に求められている安全と衛生に関する義務を効率よく遵守するために開発されたもの。

*2 TPM 活動:
Total Productive Maintenance／「全員参加の生産保全」の略称。 生産システム効率化の極限追求(総合的効率化) をする企業体質づくり を目標にして生産システムのライフサイクル全体を対象とした"災害ゼロ・不良ゼロ・故障ゼロ" などあらゆるロスを未然防止する仕組みを現場現物で構築し生産部門をはじめ、開発・営業・管理などのあらゆる部門にわたってトップから第一線従業員にいたるまで全員が参加し重複小集団活動により、ロス・ゼロを達成する活動。

*3 3Mパトロール:3M(守り、守らせ、見逃すな)パトロール

*4 4M分析法:4M(Man,Machine,Material,Method)分析法

お 知 ら せ

平成１５年度ＮＳネットセミナーを９月８日(月)に大手町サンケイプラザにて開催します。リスク・コミュニケーションに関する講演とパネルディスカッションを行い、ＮＳネット会員および一般の方の参加をお待ちしています(参加無料)。
開催案内・参加申込は８月中旬頃ＮＳネットホームページ等にてお知らせします。

安全キャラバンの予定と実績

平成15年度の安全キャラバンは11事業所を訪問する計画です。また、あわせて第50、51回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧下さい。

回	実施（予定）時期	訪問事業所	安全講演会講師
50	H15.6.20	三菱マテリアル（株） 那珂研究センター	（株）日本コンサルタント 経営コンサルタント　手塚昭仁　氏
51	H15.7.23	北海道電力（株） 泊発電所	日本テキサス・インスツルメンツ（株） オーディット・サービス　顧問　上田和彦　氏
52	（H15.8.28）	四国電力（株） 伊方発電所	日本原子力発電（株） 総合研修センター　鐘ヶ江直道　氏
53	（H15.10）	三菱原子燃料（株）	企業行動センター　所長　菱山隆二　氏 （安全講演会は合同開催）
54	（H15.10）	ニュークリア・デベロップメント（株）	
55	（調整中）	日本原燃（株）	人選中
56	（H15.11）	（株）グローバル・ニュークリア・ フュエル・ジャパン	
57	（H16.12）	日本核燃料開発（株）	
58	（H16.1）	（株）日立製作所	
59	（H16.2）	三菱重工業（株）	
60	（H16.3）	原燃輸送（株）	

＊実施時期等は都合により変更になる場合があります。

第50回　三菱マテリアル（株）那珂研究センター
講演テーマ：「技術者倫理と企業の存続」

▲ 手塚昭仁氏

「“わかっているだろう”で走らず、倫理違反の防止の1つの手段として、コミュニケーションをきちんととってください。」

第51回　北海道電力（株）泊発電所
講演テーマ：「日本TIにおける企業倫理の取組み」

▲ 上田和彦氏

「企業倫理の定着には Know What is Right（正しいことを知ろう）に基づき Do What is Right（正しいことをしよう）に導くことが重要なポイントです。」

NSnet　NSネット（ニュークリアセイフティーネットワーク）
NSネット（ニュークリアセイフティネットワーク）は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るために設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.20　2003年8月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1　大手町ビル437号室
TEL:03-5220-2666　FAX:03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介しています。
http://www.nsnet.gr.jp